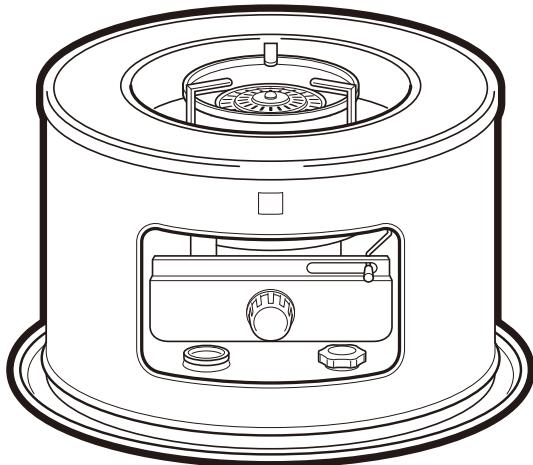


コロナ石油こんろ

取扱説明書

<保証書付> 保証書は裏表紙に印刷されています。

型式 ケーティーシー KT-C160



このたびは、コロナ石油こんろをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

燃料は必ず良質の灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。



ご注意

初使用時は油タンクに給油後、20分以上待ってから点火してください。

しんに十分灯油がしみこまないうちに点火すると、灯油の吸い上げ不足となり、燃焼筒火皿の赤熱不足が続くことがあります。

もくじ

	ページ
1 特に注意していただきたいこと	
(安全のために必ずお守りください)	1~3
* 灯油の廃棄について	3
2 使用する場所	3
3 各部のなまえ	4
• 外観図	4
• 構造図	4
• 主な構成部品	4
4 使用前の準備	5~6
• 開こんと部品のセット	5
• 燃料	5~6
• 給油	6
• 点火前の準備と確認	6
5 使用方法	7~8
• 点火	7
• 炎の調節	7~8
• 消火	8
6 対震自動消火装置	9
7 日常の点検・手入れ	9~10
8 定期点検	11
9 故障・異常の見分け方と処置方法	11
10 部品交換のしかた	12
11 保管(長期間使用しない場合)・廃棄のしかた	13
12 仕様	13
13 アフターサービス	13
14 お客様ご相談窓口	14
保証書	裏表紙

乾電池別売

乾電池は付属されていません。
乾電池(単一形)2個をお買い求めください。

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。



このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。



このマークは、「注意」していただく内容です。

！危険(DANGER)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



ガソリン使用禁止

！警告(WARNING)

スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどをこんろの上や周囲に放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



可燃性ガス使用厳禁

こんろを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー、ガソリン)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは体調不良になるおそれがあります。
使用中は必ず1時間に1~2回(1~2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。
換気するときは、換気扇を使用したり、窓や戸などを2カ所以上開けると効率よく換気ができます。



給油時消火

給油は、必ず消火してから、こんろの温度が十分下がっていることを確認して、火の気のないところでおこなつてください。

火災のおそれがあります。

こぼれた灯油は、よくふきとってください。

給油口ふたは確実に締めてください。

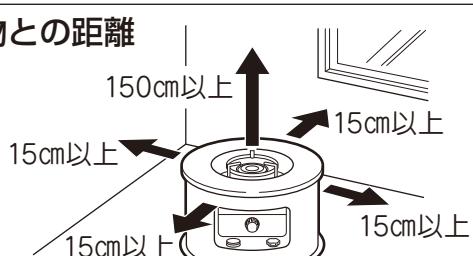


改造使用の禁止

改造して使用しないでください。
安全装置の無効化など機器の安全性を損なう改造は、火災など思わぬ事故の原因になります。



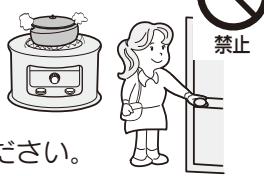
可燃物との距離



⚠ 警告(WARNING)

調理中はこんろから離れない

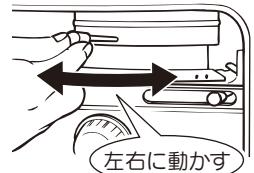
煮物など調理したまま離れないでください。食材がこげたり燃えたりして火災の原因になります。電話や来客などでこんろから離れる場合は、いったん火を消してください。



燃焼筒は正しくセットする

点火用ライターで点火した場合は、燃焼筒のつまみを持って左右に2~3回動かして、しん案内筒に正しくすわっているかを確認とともに、点火用ライターをこんろ付近や置台の上に置かないでください。

火災の原因になります。



空だき厳禁

なべ、やかん、フライパンなどは、空だきしないでください。空だきすると内部に熱がこもって、火災の原因になります。



分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。

不完全な修理は危険です。

お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。



寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。また、人目の届かないところでは、使用しないでください。

不完全燃焼や異常燃焼・火災のおそれがあります。消火の際は、必ずしん調節つまみが消火位置にもどり、火が消えたことを確かめてください。



マッチ点火の禁止

マッチでの点火はしないでください。マッチの燃えかすをしん付近や置台などの上に置くと樹脂部分が焼損したり火災の原因になります。



純正部品の使用

しんなどの部品は、必ず純正部品(指定された部品)を使用してください。

予想しない事故が発生するおそれがあります。



異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。

緊急の場合でもあわてずにしんを下げて消火してください。
(☞ 8ページ)



「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。(☞ 11ページ)

不良灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)などの不良灯油を使用しないでください。異常燃焼やしんが下がらなくなるおそれがあります。



運搬するとき

こんろを運搬する場合は、油タンク内の灯油を抜いてください。

運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(図の色の濃い部分)に手などふれないでください。

やかん、なべ、フライパンなどのとつてが加熱されていることがありますので、やけどに注意してください。

小さいお子様やからだの不自由な方のいるご家庭では、特に注意してください。



次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 風のあたる場所、部屋の出入口や屋外
- ほこりや湿気の多い場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 高地(標高800m以上)(☞ 8ページ)
- 理・美容室、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所
- マントルピース(暖炉)、押入れなどこんろが囲われる場所
- 直射日光のあたる場所



居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところでおこなってください。

火災のおそれがあります。



⚠ 注意(CAUTION)

高温注意

上部から高温の熱気がでています。手や顔などを近づけないでください。
やけどのおそれがあります。



燃焼中移動禁止

火のついたまま持ち運ばないでください。
やけどのおそれがあります。
また、転倒すると火災になるおそれがあります。



禁止

煮たき時炎の調節

煮たきをしているときには、必ず炎の調節をしてください。
なべややかんをのせると、内部に熱がこもって火力が余って赤火が出ることがあります。
長時間赤火が伸びたまま使用すると、火皿にすすが付着し、内部に熱がこもり異常燃焼することがあります。
また、煮こぼれさせないように注意してください。
煮こぼれしたものがしん案内筒や点火装置、対震自動消火装置にかかると、しんの上下ができなくなったり、着火しづらくなったり、異常燃焼や故障の原因になります。



大なべ禁止

反射板の外周からはみ出すような大きななべや鉄板をのせないでください。
内部に熱がこもったり、炎が横に伸びたりして異常燃焼のおそれがあります。
不安定なやかん、なべ、フライパンなどは使用しないでください。転倒するおそれがあります。



禁止

廃棄するとき

こんろを廃棄処分するときは、必ず油タンク内の灯油を給油ポンプなどで抜いて、電池ケースから乾電池を取りはずしてください。(☞ 9ページ)
灯油や乾電池が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。



特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。



禁止

正常燃焼の確認

正常に燃焼していることを確認してください。
しんが上がりすぎたり、燃焼筒がずれているとすすぐて異常燃焼したり、火災の原因になります。



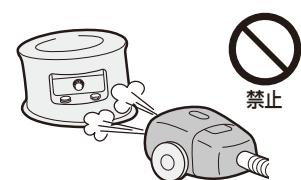
ほこりの除去

ほこりを、ときどき除去してください。
ごみ、ほこりなどがつまると、異常燃焼のおそれがあります。
燃焼部(しん案内筒)周辺や置台など、機器のほこりをときどき掃除してください。



掃除機の排気に注意

燃焼中に掃除機の排気などをあてないでください。
風があたると赤火が出たり、異常燃焼の原因になり危険です。



禁止



保管時にしていただくこと

長期間使用しないときまたは保管するときは、必ず灯油を抜いて、乾電池を取りはずしてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
火災のおそれがあります。



日常のお手入れ時の注意

日常の点検・手入れは必ずおこなってください。
点検・手入れは、こんろが冷えてからおこなってください。
やけどのおそれがあります。
(☞ 9・10ページ)



お願い(NOTICE)

灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

結露に注意

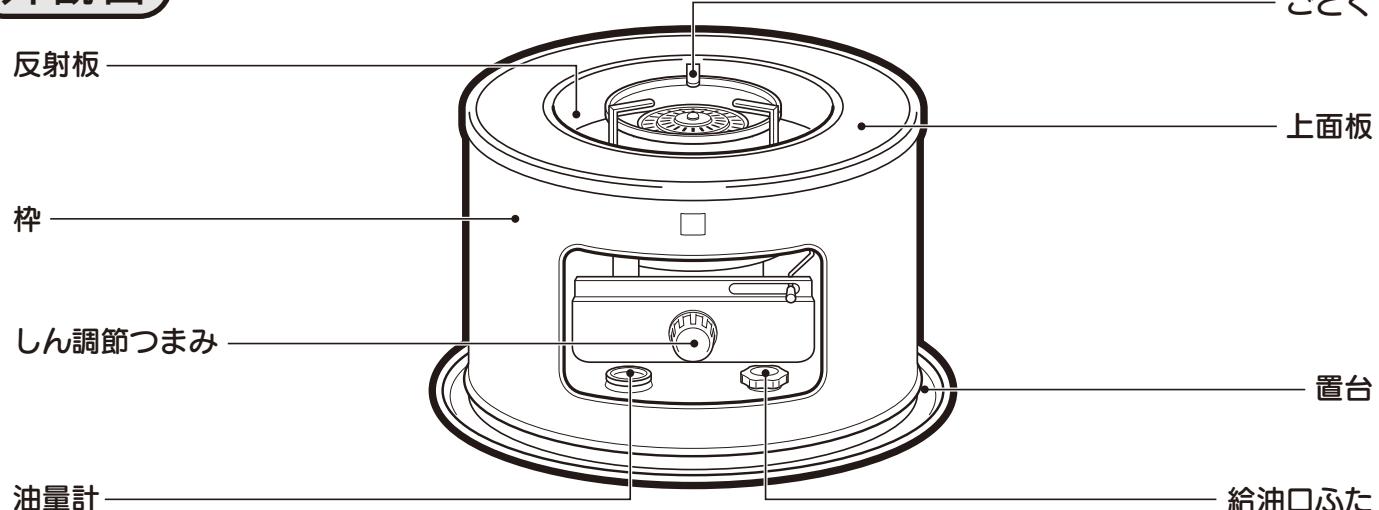
こんろは、室内で燃焼する製品のため、気密の高い部屋などでは、換気を十分にしてください。
換気をしないと、壁や天井が結露する場合や結露によってパソコンや電気機器等に障害が生じるおそれがあります。

2 使用する場所

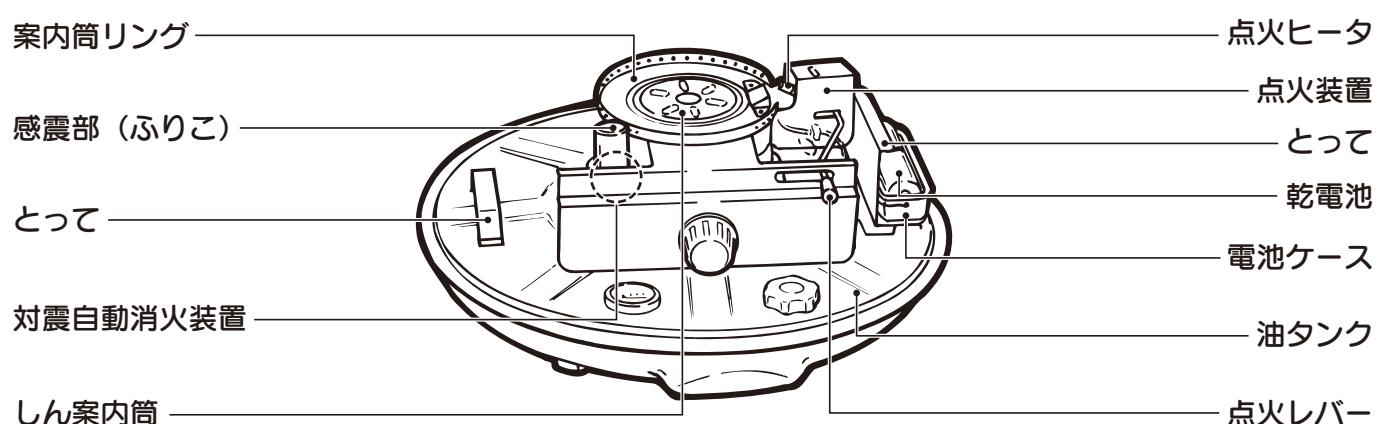
- こんろは水平で安定したところに置いてください。
- このこんろは屋内用です。屋外では使用しないでください。
- 部屋の出入口や人の通るところでは使用しないでください。

3 各部のなまえ

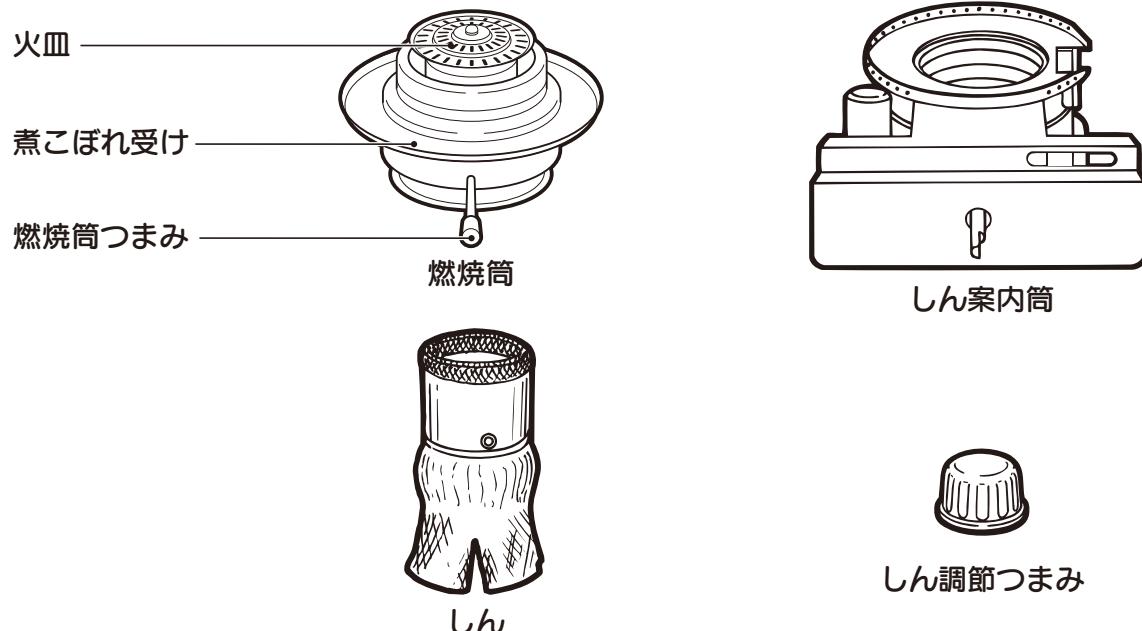
外観図



構造図



主な構成部品



4 使用前の準備

開こんと部品のセット

1. 包装箱からこんろを出す

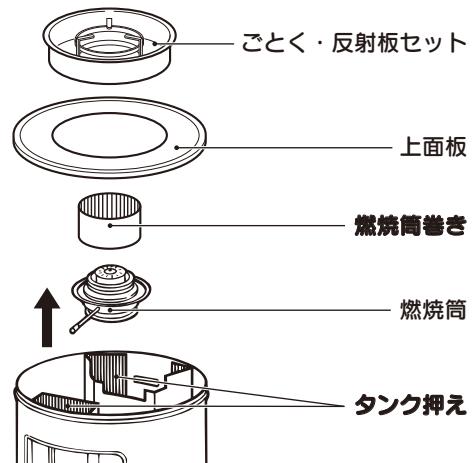
- 包装箱からこんろを取り出してください。
- ごとく・反射板セットをはずしてください。
- 上面板をはずしてください。



- 安全のために、保護具(手ぶくろなど)を着用してください。
- 枠をおさえて上面板をゆっくり持ち上げてください。

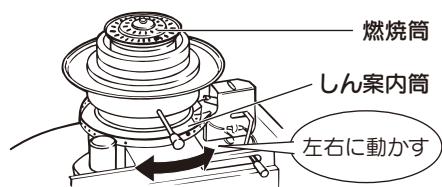
- 燃焼筒を取り出し、燃焼筒を固定している燃焼筒巻きをはずしてください。
- 枠内にあるタンク押さえをはずしてください。

- 部品をはずしたりセットするときは、手をすべらせてけがをしないように、ゆっくりと慎重におこなってください。
【安全のために、保護具(手ぶくろなど)を着用してください。】
- 包装箱、燃焼筒巻き、タンク押さえはこんろの保管に必要です。
また、取扱説明書も忘れずに保管してください。



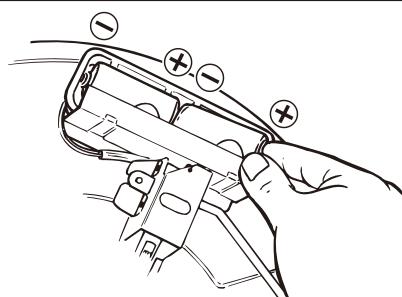
2. 燃焼筒のセットを確認する

- 燃焼筒をしん案内筒にのせ、燃焼筒つまみを左右に動かして、しん案内筒に正しくセットされていることを確認してください。



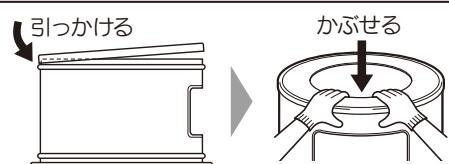
3. 乾電池（単一形2個）をセットする

- 乾電池は別売です。
- 同じ種類の新しい単一形乾電池を2個用意してください。
種類の異なる乾電池、または新しい乾電池と古い乾電池を組み合わせて使用しますと、液漏れや破裂のおそれがあります。
- シーズン始めにすべて新しい乾電池に交換してください。消耗した乾電池を使用すると、着火しにくい場合があります。
- 右側にある電池ケースに、乾電池を電池ケースの絵の方向に合わせて正しくセットしてください。



4. 上面板を取り付ける

- 上面板を枠の後部にしっかりと引っかけたあと、はずれないように、枠の手前側を親指で少し押しこみながら、ゆっくりかぶせてください。
- 最後に、ごとく・反射板セットを取り付けてください。



燃料

燃料は必ず灯油（JIS 1号灯油）を使用してください。

- **危険** ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- **注意** 不良灯油（変質灯油、不純灯油）は絶対に使用しないでください。
- 添加剤や助燃剤などは使用しないでください。
- 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光をさけた場所に保管してください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。（火の気のない所でおこなってください。）



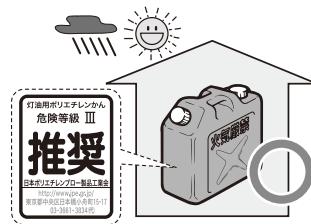
灯油は
ぬれたまま

ガソリンは
すぐ乾く

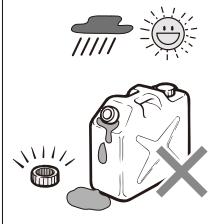
正しい灯油の保管方法

- 火気、雨水、ごみ、高温、日光を避けた場所で、保管してください。翌シーズンに持ち越さないようにしてください。
- 紫外線を通しにくい色付きの灯油用ポリタンク(推奨マーク付)を使用してください。乳白色のポリタンク(水用)は使用しないでください。
- ふたは、しっかりと閉めて保管してください。但し、灯油は紫外線だけでなく温度でも変質するので、推奨マーク付の灯油専用容器でも日なたには放置しないでください。日なたに放置すれば変質灯油になってしまいます。

良い保管



悪い保管



不良灯油(変質灯油・不純灯油)とは…

変質灯油

- 昨シーズンより持ち越した灯油
- 温度の高い場所で保管した灯油
- 日光のあたる場所で保管した灯油
- 乳白色のポリタンクで保管した灯油
- 灯油用ポリタンクのふたが開けてあった灯油



不純灯油

- 水やごみなどが混入した灯油
- ガソリン、軽油、シンナー、天ぷら油、機械油などが混入した灯油
- 灯油以外の油を入れたことのある容器に保管した灯油
- 水抜剤や助燃剤を添加した灯油



不良灯油(変質灯油・不純灯油)の見分けかた

- 2つのコップを用意し、片方には水、もう片方には灯油を入れます。その2つのコップの背後に白紙をあてて色を比較し、灯油に色が付いていたら変質灯油の可能性があります。
- 変質灯油になるとす黄色をおびた色になったり、すっぱい臭いがしたりします。
- 水が混入した不純灯油の場合は、水が下にたまり灯油と水が分離した状態になります。

少しだけ色がついていたら
使用しない



※保管の状態によっては、無色透明でも灯油が変質している場合があります。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、機器の故障の原因になります。

- 油の程度にもよりますが、1~30日のご使用で、しんの先端にカーボンやタールが付着し、その部分がかたくなると同時に厚くなつて、対震自動消火装置が作動しても、しんが下がらず消火しないことがあります。
- 着火しなかつたり、着火に時間がかかるつたりします。
- 燃焼筒の火皿に赤熱むらが出たり、燃焼筒が暗くなり、激しいにおいがしたり、異常燃焼したりします。
- 油タンクに灯油が残っていても火力が小さくなつたり、しんが下がらなくなつたりします。
- 着火してから完全燃焼まで時間がかかります。
- 油タンクが腐食する原因になります。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用したときは…

- 油タンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で2~3回洗ってから使用してください。(悪い油が残っていると再発します。)(☞ 9ページ)
- しんの手入れをしてください。(☞ 9ページ)
- しんの手入れをしても効果のないときはしんを交換してください。しんの交換はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。(☞ 12ページ)

ご注意

- 変質灯油や不純灯油などの不良灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
- 不良灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買いあげの販売店にご相談ください。

給油

● **警告** 給油は必ず消火してから、こんろの温度が十分下がっていることを確認して、火の気のないところでおこなってください。

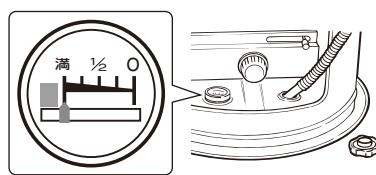
給油の手順と注意

1.給油口ふたを取りはずす

- 給油口ふたを左にまわして取りはずしてください。

2.給油する

- 市販の給油ポンプなどを使用して、油量計を見ながら給油してください。
- 油量計が【満】をさしたら、給油をやめてください。入れすぎると、あふれ出て火災の原因となります。

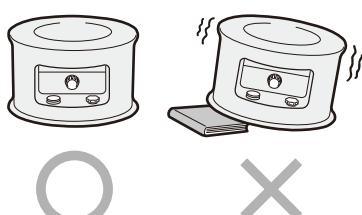


3.給油口ふたを締める

- 給油口ふたは、確実に締めてください。
- こぼれた灯油はよくふきとっください。
- 器具に灯油をこぼした場合は、よくふきとり、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。そのまま使用されますと、火災の原因になります。

点火前の準備と確認

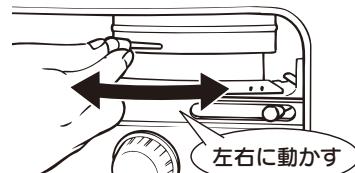
水平な場所に設置



- こんろは、水平で安定のよい床の上に設置してください。

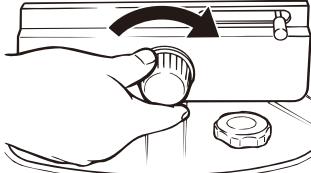
- 傾斜した場所や振動の激しい場所で使用すると、異常燃焼や対震自動消火装置の誤作動の原因になります。

燃焼筒のセット確認



- 燃焼筒のつまみを持って左右に2~3回動かして、しん案内筒に正しくセットされているかを確かめしてください。
- 燃焼筒がしん案内筒に正しくセットされていないなかつたり、燃焼筒がずれてしんを踏んでいると、すぐが出て異常燃焼の原因になります。

対震自動消火装置のセット



- しん調節つまみを右(燃焼)方向にゆっくり止まるまでまわすことにより自動的にセットされます。
- しん調節つまみをまわすとき「カチカチ」と音がして重いのは、対震自動消火装置が自動的にセットされているためです。
- 一度セットされますと、しん上下は軽くなり、音もなくなります。

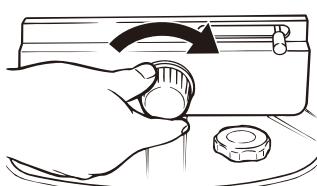
5 使用方法

点火

電池点火のしかた

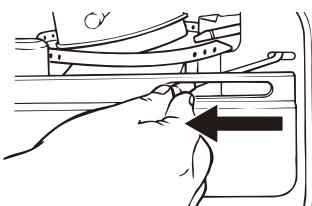
1. しん調節つまみを右(燃焼)方向へまわす

- 右(燃焼)方向にまわしきって、しんをいっぱいに上げてください。



2. 点火レバーを左(矢印)方向に引く

- ゆっくり止まるまで引いてください。燃焼筒が傾き点火します。
- 着火を確認したら、点火レバーからゆっくり指をはなしてください。

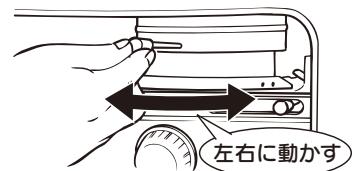


- 点火ヒータ付近から白煙が上がるだけで着火しない場合は、点火レバーを少し戻すと着火します。(逆に強く押しつけると着火しにくくなります。)

- 着火したことを確認したあとも点火操作をそのまま続けていると、点火ヒータのフィラメントが断線したり破損の原因になります。

3. 燃焼筒のセットを確認する

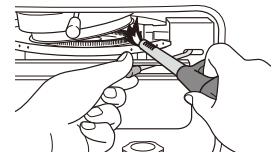
- 燃焼筒のつまみを持って、左右に2~3回動かし、しん案内筒に正しくセットされているか(燃焼筒がしんの上にのっていないか)を確かめてください。



- 警告** 燃焼筒が正しくセットされていないと、最初から赤火ですすけて異常燃焼します。正しくセットしてください。

点火用ライターでの点火のしかた(万一点点火ヒータが使えないとき)

- しん調節つまみを右(燃焼)方向にまわしきって、しんをいっぱいに上げてください。
- 点火レバーを左(矢印)方向に引いて燃焼筒を傾け、点火用ライターで点火したら、点火レバーからゆっくり指をはなしてください。
- 燃焼筒つまみを持って左右に2~3回動かし、燃焼筒のセット具合を確かめてください。



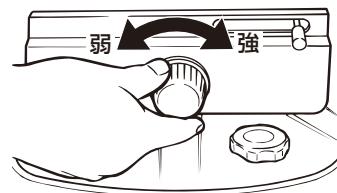
- 警告** 燃焼筒が正しくセットされていないと、最初から赤火ですすけて異常燃焼し、火災になるおそれがあります。正しくセットしてください。
- 警告** マッチでの点火はしないでください。マッチの燃えかすをしん付近や置台などの上に置くと樹脂部分が焼損したり火災の原因になります。

- 初めてご使用になるときや、しんの手入れ、しんの交換、から焼きなどをしたときは、給油後20分以上待ってから点火してください。しんに十分灯油がしみこまないうちに点火すると、吸い上げ不足のため燃焼筒火皿の赤熱不足が続いたり、しんをいためる原因になります。このときは、いったん消火し、20分以上放置後点火してください。
- 初めてご使用になるとき、着火後しばらく多少のにおいがしますが、これは器具に付着している油などが焼けるときのもので異常ではありません。

炎の調節

炎の調節はしん調節つまみでおこないます。

- しん調節つまみを右(燃焼)方向にまわすと炎が伸び、左(消火)方向にまわすと炎は小さくなります。必ず**正しい炎の状態**に調節してご使用ください。
- 炎や火皿の赤熱状態を見ながら下図の**正しい炎の状態**に調節し、**しんの下げすぎ**や**しんの上げすぎ**の状態にならないようにしてください。



炎の状態

しんの下げすぎ X

火皿の赤熱が不足している。



正しい炎の状態 O

炎が火皿の高さまで伸び、火皿の外周全体が赤熱している。



しんの上げすぎ X

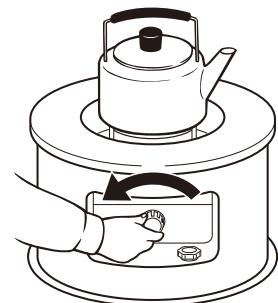
赤火が火皿より出ている。



- 着火後15~20分たって、部分的な炎の伸びや、火皿の赤熱むらがでるときは燃焼筒つまみを持って左右に軽く2~3回動かしてください。それでも炎が伸びてたら、しん調節つまみをゆっくり左(消火)方向にまわして【正しい炎の状態】に調節してご使用ください。
- 着火後そのままにしておくと【しんの上げすぎ】のように炎が伸びて、すすや一酸化炭素が発生したり、内部に熱がこもって異常燃焼することがあります。炎や火皿の赤熱の状態を見ながら正しい炎の状態に調節してください。また、【しんの下げすぎ】のように火皿の赤熱が不足している状態で燃焼すると、においや一酸化炭素が発生するばかりでなく、しんにカーボンが付着し、しん上下も重くなります。このようなときはしんの手入れをしてください。(☞ 9ページ)
- しんを下げた状態から急にしんを上げると、炎が大きく上がることがありますので、ゆっくりしんを上げるようにしてください。
- 燃焼中は、点火レバーに触れないでください。操作すると炎が上がります。また、点火ヒータのフィラメントが変形したり断線したりすることがあります。
- 換気扇・超音波加湿器を使用すると、炎がピンク色になることがあります。異常ではありません。
- 標高の高いところでは、空気がうすく、不完全燃焼になりやすいため、必ず**最大火力**でご使用ください。

煮たきするときの注意

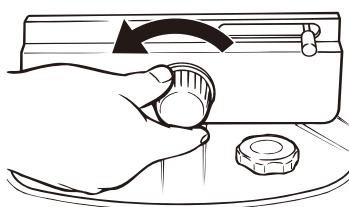
「なべ」や「やかん」などをのせて10~20分くらいたつたら、赤火が出ないように炎の調節をし、そのあともときどき炎の状態を見てください。



- **△注意** 「なべ」や「やかん」などをのせたときには、必ず炎の調節をしてください。
- **△注意** 反射板の外周からはみ出すような大きななべ(直径24cm以下の調理器具を使用してください)や鉄板をのせないでください。内部に熱がこもったり、炎が横に伸びたりして、異常燃焼のおそれがあります。また、不安定なやかん、なべ、フライパンなどをのせないでください。転倒するおそれがあります。
- 最大火力のままで使用すると、炎の出るところがなべなどの底で制限をうけ、内部に熱がこもり、火力が余って赤火が出ることがあります。長時間赤火が伸びたまま使用すると、火皿にすすが付着し、内部に熱がこもり、異常燃焼することがあります。火皿にすすが付着した場合は、ブラシなどですすを取りのぞいてください。
- 湯こぼれすると、炎が水蒸気にあおられて、一時に炎が大きくなったり、なべがすすけたりします。また、なべなどの底についている水は、必ずふき取ってからこんろにのせてください。
- なべややかんなどは、上面板にのせないでください。上面板に傷がついたり、変色することがあります。

消火

1.しん調節つまみを左(消火)方向へまわす



- ゆっくりと左(消火)方向に止まるまでまわして、しんを下げて消火してください。

- こんろをゆさぶったり、傾けたりして消火しないでください。
- 3~5分で消火します。
- しん調節つまみは約1回転しかまわりませんので、それ以上むりにまわさないでください。

2.消火の確認をする

- 必ず消火の確認をしてください。

対震自動消火装置が作動した場合は…

- しん調節つまみをまわして消火したときとくらべ、消火時の臭気が強くなります。また、急にしんが下がるため、火皿よりも上方に炎が一時的に伸びます。
- 変質灯油などでしんの上部にタールなどが多く付着していると、対震自動消火装置が作動しても、しんが完全に下がりきらないで消火しないことがあります。必ずしん調節つまみをまわして消火の確認をしてください。このようなときはしんの手入れをしてください。(☞ 9ページ)

消火後再点火するときは…

- 消火後すぐに再点火すると燃焼筒の温度が高くて、着火しなかったり、においがします。また、点火ヒータのフィラメントが断線する場合があります。燃焼筒が冷えるまで、6~7分くらい待ってから点火してください。

6 対震自動消火装置

強い地震や振動、衝撃を受けたときは対震自動消火装置が作動して自動的に消火します。しん調節つまみを右（燃焼）方向に止まるまでまわしてしんを上げると、自動的に対震自動消火装置はセットされます。（☞ 6 ページ）

- 対震自動消火装置は、JIS に定められた 100~200 ガルの振動により作動するように調整してあります。したがってご使用中における弱い日常的な振動、傾斜では作動しません。
- 変質灯油などでしんの上部にタールなどが多く付着していると、対震自動消火装置が作動してもしんが完全に下がりきらないで消火しないことがあります。必ずしん調節つまみをまわして消火の確認をしてください。このようなときはしんの手入れをしてください。（☞ 9 ページ）
- 地震によって作動した場合は、周囲の可燃物、こんろの損傷、灯油のあふれなど異常がないことを確認したあと、再点火してください。

7 日常の点検・手入れ

点検・手入れは、消火後こんろが十分冷えてからおこなってください。

- 対震自動消火装置を分解したり、油でふいたりしないでください。
- しんの標準出寸法は5mmです。切ったり、長く引き出したりしないでください。
- しん案内筒・燃焼筒は変形させないでください。
- お手入れの際に、燃焼筒をはずしたり本体を分解するときは、保護具などを着用してけがのないよう注意してください。

しんの点検・手入れ（から焼き）【月1回】

変質灯油や不純灯油などの不良灯油でしんの上部にカーボンやタールが付着し、不具合が生じたとき（☞ 6 ページ）は、しんの手入れ（から焼き）をしてください。

しんの手入れ（から焼き）のしかた

しんの手入れ中に、こんろに風があたると赤火が出たり、異常燃焼や火災の原因になり危険です。
しんの手入れは風のあたらない屋内でおこなってください。
また、しんの手入れ中はにおいがしますので、十分に換気をしてください。

1. 油タンクの灯油を抜く

2. 点火操作をし、正しい炎の状態で燃焼させる（☞ 7・8 ページ）

3. そのまま灯油がなくなつて、火力が小さくなるまで放置する

4. 火力が小さくなつたらしんをいっぱいに上げ、消火するまで燃焼させる

- しんがかたくなっているときは、しんの手入れを2~3回おこなってください。
- しんの手入れ後のご使用は、給油後20分以上待つてしんに十分灯油がしみこんでから点火してください。
しんに十分灯油がしみこまないうちに点火すると、吸い上げ不足のため燃焼筒火皿の赤熱不足が続いたり、しんをいためる原因になります。

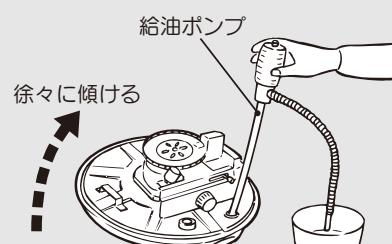
■次のようなときは新しいしんと交換してください。（☞ 12 ページ）

- しんの手入れをおこなつてもカーボンやタールがとれず、効果がないとき。
- しんが水を含んでしまい、しんの上下操作が重くなつたとき。
- しんの上部が消耗して、うすくなつたり短くなつたり、凹凸になつてているとき。

■油タンク内の変質灯油や不純灯油などの不良灯油を取り除くときは…

処置方法（火の気のないところでおこなってください。）

1. 感震部のふりこを押して、対震自動消火装置を作動させてください。
2. 油タンク内の灯油を図のよろにして抜き取り、きれいな灯油で2~3回洗つてください。
3. ごみなどが入ついたら取り除いてください。
4. しんの手入れ（から焼き）もあわせておこなつください。（☞ 上記参照）
5. 良質の灯油を、油量計の針が【満】をさすまで給油してください。



	点検箇所	点検する内容	処置方法
使 用 ご と	置台 油タンク	●油漏れ・油のたまりや油のにじみがないか。	●油のたまりや、油のにじみはふきとる。 油漏れのある場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。
	外観 上面板、枠、反射板、置台など	●ほこりや汚れがないか。	●やわらかい布でふきとる。 (ベンジン、シンナー、クレンザーなどでふかないでください。)
	こんろの周囲	●可燃物がないか。	●周囲を整理・清掃し、可燃物は取り除く。
	乾電池	●点火ヒータの赤熱が弱くないか。 ●着火しにくくないか。	●新しい乾電池と交換する。
月1回	しん案内筒	●たいらの部分にすすや燃えかすなどがたまっていないか。 〔燃えかすなどがたまると燃焼筒が正しくセットできず、燃焼を阻害することがあります。〕	●燃焼筒をはずし、 \ominus ドライバーの先で燃えかすなどを取り除く。 しんの先端をしん案内筒のたいらの部分に合わせ、燃えかすがみぞに落ちないように注意してください。
	点火ヒータ	●点火ヒータの位置（しんとの間隔）は正しいか。 〔フィラメントが、しんに対してちょうど良い位置にないと着火しにくくなります。〕	●しんの出寸法が5mmのときに点火ヒータの位置がちょうど良いところになります。 点火ヒータの位置の調整はお買いあげの販売店に依頼してください。
		●フィラメントの変形、断線はないか。	●変形はつまようじなどでまつすぐにおすす。 ●変形がなならないものや、断線したものは取り替える。 (☞ 12ページ)
月2回	対震自動消火装置	●火皿にすすが付着していないか。 ●煮こぼれ汁が火皿や煮こぼれ受けに付着していないか。	●ブラシなどで、すすを取りのぞく。 ●湿らせた布でふきとる。
		作動具合	●作動しない場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
月1回	対震自動消火装置	作動部（しん） ●しんの上下はスムーズか。 ●タールの付着はないか。	●しんの手入れをする。(☞ 9ページ) ●効果がない場合は、しんを交換する。(☞ 12ページ) (お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。)
しん交換時	しん案内筒パッキン	●のび、裂け、切れ、ひびなどがないか。	●パッキンに、のび、裂け、切れ、ひびなどがある場合は交換する。 (お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。) 裂け、切れ、ひびなどの入ったパッキンをお使いになると油漏れのおそれがあります。

8 定定期点検

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。

2年に1回程度、シーズン終了後などにお買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。(有料)

愛情点検	長年ご使用の石油こんろの点検をぜひ!	ご使用中止
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">●油漏れがする。●炎が不安定ですすが出る。●器具を強くゆすっても炎が消えない。●焦げるようなにおいや目がチカチカする。●その他の異常や故障がある。	<p>故障や事故の防止のため必ずお買いあげの販売店にご連絡ください。 点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買いあげの販売店にご相談ください。</p>

9 故障・異常の見分け方と処置方法

●次の表にもとづいて、お確かめください。

●処置方法により処置しても良くならないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

現象	処置方法												参照ページ	
	着火しない。	火皿が赤熱しない。	炎がかたまる。	においがする。	赤火やすすが出る。	炎が大きくならない。	しん上下操作が重い。	しんが下がらない。	しんがすぐ下がってしまう。	消火しない。	油タンクに灯油が入っているのに	消火する。		
原因														
水、変質灯油や不純灯油などの不良灯油が混入している。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	油タンク内の水、灯油を抜き、きれいな灯油で洗い、しんも交換する。	9・12	
しんに十分灯油がしみこまないうちに点火した。	●	●	●	●	●					●		給油後はしんを下げて20分以上待ち、しんに十分灯油がしみこんでから点火する。	7	
しんを上げすぎている。		●	●	●	●							正しい炎の状態になるようにしんを調節する。	7	
しんを下げすぎている。	●		●	●	●							燃焼筒つまみを左右に動かしてセットしなおす。	6	
燃焼筒のセットが悪い。		●	●	●										
長時間閉め切った部屋で使用している。	●		●	●	●							窓をあけ、部屋の換気をする。	1	
しんにタールが付着している。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	「しんの手入れ」をする。	9	
しんの取り付けがしん抑えにピッタリしていない。						●	●					正しく取り付けなおす。 (お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。)	—	
点火ヒーターのフィラメントが変形または断線している。	●											変形をなおすか交換する。	10・12	
乾電池が正しく入っていないまたは、消耗している。	●											⊕ を正しく入れる。 新しい乾電池と交換する。	5	
燃焼筒が変形、破損している。		●	●	●	●	●						新しい部品と交換する。	12	
風または、振動を受けている。		●	●	●	●	●		●				風の当たらない場所で使用する。 振動を受けないようにする。	3	
しん上下機構が故障している。	●					●	●	●	●			お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してすぐ修理する。	—	
対震自動消火装置が故障している。							●	●	●					
しんの上に燃焼筒がのっている。			●	●	●							しん上下操作をくりかえし、燃焼筒つまみを左右に動かしてセットしなおす。	7	

10 部品交換のしかた

■部品交換のときの注意

ご注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要な場合には、お買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換は **コロナ純正部品** とご指定ください。

しんの交換

- しんの交換は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ依頼されることをおすすめします。
- しんは必ず検査に合格または認証された「コロナ純正しん KT-10またはKT-1623」(右のマーク付)をご使用ください。
器具に適合しないしんや、粗悪なしんを使用しますと、性能を十分発揮できないばかりでなく火災や中毒の原因になります。
- しんの交換方法は、替しんに同こんの「石油燃焼機器用しん取扱説明書」にしたがってください。



燃焼筒の交換

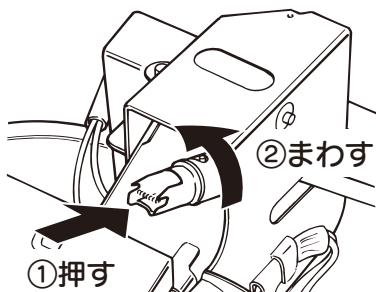
燃焼筒が変形したときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

点火ヒータの交換

次の順序で交換してください。

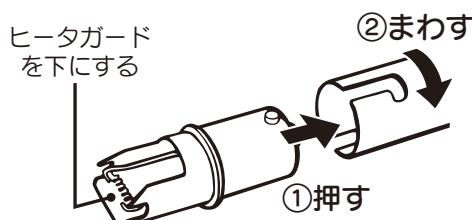
1. ごとく・反射板セット、燃焼筒をはずして、乾電池を取り出す (☞ 5 ページ)

2. 点火ヒータをはずす



- 古い点火ヒータを押しながら左にまわしてソケットからはずしてください。

3. 新しい点火ヒータを取り付ける



- 点火ヒータのヒータガードを下側にして、ソケットに取り付けてください。

11 保管(長期間使用しない場合)・廃棄のしかた

おしまいになるときは、日常の点検・手入れの項を参照し、次の要領で保管してください。

長期間使用しないとき

1.油タンクの灯油を抜き取ってください。(☞ 9ページ)

- 水、ごみなどを残したまま保管すると、さびや穴あきの原因になったり、しん上下不良の原因になることもあります。
- 灯油を抜いたあとは、内部をよく乾燥させてください。
- 灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

2.しんの手入れをしてください。(☞ 9ページ)

3.必ず乾電池を取りはずしてください。

4.内部のごみやほこりを取ってください。

- 掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

5.こんろの外観を掃除してください。(☞ 10ページ)

- 反射板やメッキ部分はやわらかい布で塗装部分はしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。

6.対震自動消火装置を作動させてください。(☞ 10ページ)

7.包装箱に入れて、乾燥した場所に水平に保管してください。

- △注意 傾けたり、横倒しの状態では絶対に保管しないでください。

- 取扱説明書は、大切に保管してください。

- 来シーズンにお使いになるときは、対震自動消火装置の作動を2~3回くりかえし、しんが最後まで下がることを確かめてください。

廃棄のしかた

- 廃棄処分するときは、各自治体の指示にしたがってください。

- 必ず油タンクの灯油を抜いて、電池ケースから乾電池を取りはずしてください。

- 灯油の廃棄処分については、灯油をお買いあげになった販売店にご相談ください。

12 仕様

型式の呼び	KT-C160(基本型式 KT-1621)
種類	しん式・煮炊用
点火方式	電池点火(単一形乾電池(1.5V)2個)
使用燃料	灯油(JIS 1号灯油)
燃料消費量	1.59 kW(0.155 L/h)
こんろ効率	47%
出力	1.59 kW
油タンク容量	4.9L
燃焼継続時間	約32時間
外形寸法	高さ320mm 幅490mm 奥行490mm(置台を含む)
質量	8.3kg
しん	種類 普通筒しん
	呼び寸法 内径75mm 厚さ2.8mm
安全装置	対震自動消火装置

13 アフターサービス

保証について

- 保証書の「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
- 保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。
- 次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
 - 変質灯油や不純灯油などの不良灯油、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - 誤った使用方法による故障や事故。

■保証期間が過ぎているときは

- お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間

- 石油こんろの補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後6年です。

■修理に出されるときは

- 輸送時や運搬時に油タンク内に灯油が残ったままであると、傾きや振動で灯油がこぼれることがありますので、必ず抜き取ってください。

修理を依頼されると

- 本書の「故障・異常の見分け方と処置方法」(☞ 11ページ)の項にしたがって調べても良くならないときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - 品名:コロナ石油こんろ
 - 型式の呼び:上記「仕様」欄に記載
 - お買いあげ日
 - 故障状況(できるだけ具体的にご連絡ください。)
 - ご住所・お名前・電話番号
- 修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

14 お客様ご相談窓口



お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号 365日24時間受付）

TEL フリー[®]ダイヤル  0120-919-302

携帯電話 ナビ[®]ダイヤル  0570-550-992

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

<https://www.corona.co.jp/support/service/>

■365日24時間修理依頼ができます。

部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。

右記QRコードからアクセスできます。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



コロナ公式オンラインストア



公式オンラインストア

CORONA STORE

<https://ec.coronaweb.com/>

(コロナ公式ホームページからもアクセスできます)



株式会社 コロナ

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

TEL(0256) 32-2111 〈代表〉

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>

926040R

コロナ 石油こんろ保証書

型式	KT-C160
★ お 客 様	お名前 様
	ご住所 〒(-)
	電話 () -

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買いあげの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ

お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日	年 月 日	住所・店名
保証期間	対象部分	★販売店
期間(お買いあげ日より)	本体 見本 年	
		電話 () -

●お客様へお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。

販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口(本書の14ページに記載)にお問い合わせください。
- 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) 取扱説明書、本体表示等によらないで使用された場合、または適切な点検・手入れをおこなわなかったことにより発生した不具合
 - (ハ) お買いあげ後の輸送、落下等による故障及び損傷
 - (二) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害及び、変質灯油や不純灯油などの不良灯油、異質油(灯油以外の油または混入)による故障及び損傷
 - (ホ) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
 - (ト) 本書の提示がない場合
 - (チ) 消耗品の交換(しん、点火ヒータ)
 - (リ) 定期点検の費用
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid in Japan only.
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(本書の14ページに記載)にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」のページをご覧ください。

※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(本書の14ページに記載)にお問い合わせください。

株式会社 コロナ

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7
TEL(0256) 32-2111 〈代表〉

ホームページ <https://www.corona.co.jp/>